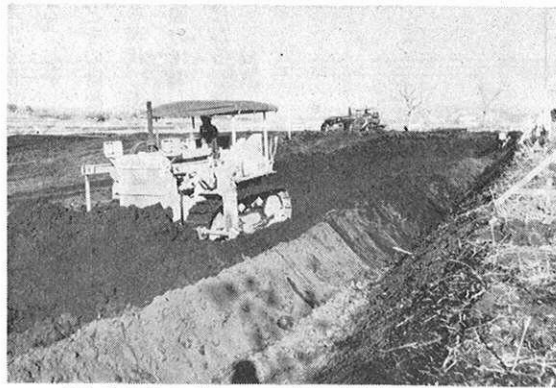


# 地域開発のための基盤整備へ

## □ 本格化した新空港の建設

県と国は、高遊原の台地に総事業費約二十九億円で滑走路二千メートルの大型空港を建設することとし、すでに前年度からその工事に着手しているが、本年度、国は地方空港建設の重点事業として新熊本空港に四億七千六百万円の事業費をもって本格的な建設工事を進めることとなっている。県も、国の事業計画と並行し、工事の負担金のほかターミナルから菊池郡菊陽町に抜ける地下道の建設、



45年秋就航めざして……新空港建設もたけなわ

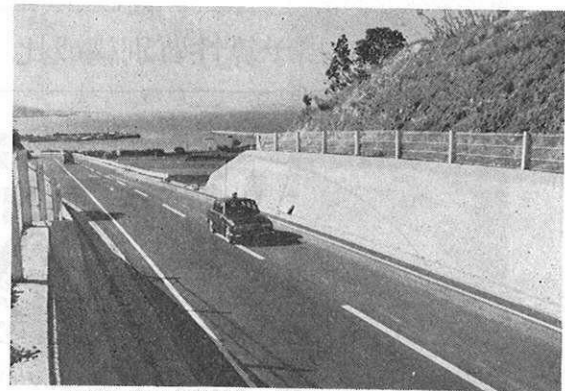
関連道路のつけかえ、開拓道路の改良などの経費として、六億九千四百万円が計上された。

また、空港建設に伴う高遊原地域の農業開発としては、大切畑及び深迫ダムを中心とした農営土地改良事業に着工するほか、圃場整備、水資源対策、集団桑園の造成などを行なうための経費として、五億八千五百万円を計上。

## □ 道路の建設

### (一) 九州縦貫自動車道の建設促進

日本道路公団の建設する九州縦貫自動車道は、将来の九州地区の交通体系の大動脈となり、熊本県の開発のため積極的に促進すべき事業である。昨年来の県民の深い理解と協力によって熊本以北についての用地買収も順調に進み、すでに一部は工事が開始されている。熊本以南についても昨年末、松橋・八代間が整備区域に編入され、十四年中には、託麻・松橋間の用地買収が開始される見込みである。県ではひきつづき公団の業務に協力



産業・観光の動脈として道路整備も着々と……

すべく委託費などを計上している。

### (二) 菊池、阿蘇道路の建設

県は、城北地区の産業及び観光開発の基幹ルートとして菊池・阿蘇道路の建設を計画し、四十三年から予備調査を実施しているが、本年度は、事業認可申請のための本調査及び用地買収のための経費として一億四千万円を計上。

### (三) 県内道路網の整備

従来より道路網の整備については、各種公共事業の中で最重点事業として積極的にとり組んできたところであるが、四十四年度は、特に、市街地交通

## □ 水資源の開発

農業ダムの建設、かんがい排水・上水道・発電所の建設など水資源の開発は地域産業開発の基盤としてばかりでなく生活の根拠を支えるものとして重要な問題といえよう。熊本県では、国に対する多年の要望が実を結び、昨年より河川の総合開発についてのいろいろな事業が相ついで着手のはこびとなり、この面での施策は急速に進展をみるに至っている。四

十四年度においては、①緑川・川辺川のダム・かんがい排水工事にかかる国直轄事業の負担金、県営事業として実施する氷川、五木、亀川ダムに関する事業費及び調査費を合算して約六億八千六百万円②緑川ダムの建設に関連して企業局が実施する発電所の建設費として主体工事分二十億一千九百万円と昨年度を大きく上回る額が計上。

# 産業の振興へ

## □ 土地基盤の整備と農業の構造改善

農業生産性の向上をはかるため土地基盤整備事業の積極的拡大をはかることとし、圃場整備、かんがい排水などを中心とした土地改良関係の事業費は、約三十八億三千二百万円で前年度当初予算に比し、三十一%の大幅な増となっている。また現在行なわれている第一次構造改善事業に本年は六十地域を予定するほか、第二次構造改善事業の計画樹立のための予算(八町村分)を含め、農業構造改善事業の経費として十三億八千万円が計上された。

## □ 農業金融対策

最近、農業近代化が進むに伴い資金の

需要が急速に増大しつつあり、このような情勢に対処するためとしては、農業関係の金融対策が大幅に充実されることになり、農業近代化資金枠を前年度の二十九億円から五十億円に拡充するほか、農業改良資金を増額し、さらに県信連に対する歳計金からの貸付枠についても前年度の五億円から九億円に拡大された。

昭和44年度歳出予算の「各款別」予算額調

款別	昭和44年度		昭和43年度		A - B	伸び率 B/A
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比		
1 議会費	244,046	0.4	244,972	0.4	△ 926	100
2 総務費	4,011,423	5.5	4,086,908	6.5	△ 75,485	98
3 民生費	5,186,824	7.1	4,300,557	6.8	886,267	121
4 衛生費	3,339,151	4.6	3,064,251	4.8	274,900	109
5 労働費	554,832	0.8	537,096	0.9	17,736	103
6 農林水産業費	14,789,069	20.4	11,934,232	18.8	2,854,837	124
7 商工費	2,205,912	3.0	1,641,562	2.6	564,350	134
8 土木費	12,999,053	17.9	11,076,132	17.4	1,922,921	117
9 警察費	3,644,390	5.0	3,219,006	5.1	425,384	113
10 教育費	22,427,760	30.8	20,284,934	32.0	2,142,826	111
11 災害復旧費	754,217	1.0	651,269	1.1	102,948	116
12 公債費	1,908,595	2.6	2,171,576	3.4	△ 262,981	88
13 諸支出金	641,057	0.9	93,049	0.2	548,008	689
14 予備費	20,000	—	20,000	—	—	100
合計	72,726,329	100.0	63,325,544	100.0	9,400,785	115

## 道路整備や美術館建設基金など 補正約十七億円を議決

六月の定例県議会では、公共用地の先行確保をはかる「土地開発基金」制度を新設、この基金として五億円、単

県道路関係事業費の増額五億五千六百万円、住宅供給公社に対する資金援助として、貸付金三億円、県立美術館建設基金一億円および調査費など総額十七億七千九百四十一万七千円の補正予算案、それに熊本県犬取締条例案など上程、審議が行なわれ可決された。